

# 一般会計予算決算常任委員会記録

平成28年6月14日

【開催日】 平成28年6月14日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時20分

【出席委員】

委員長	伊藤 實	副委員長	小野 泰
委員	岡山 明	委員	河野 朋子
委員	笹木 慶之	委員	下瀬 俊夫
委員	中村 博行	委員	松尾 数則
委員	矢田 松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
----	-------	-----	-------

【傍聴議員】

議員	岡山 明		
----	------	--	--

【執行部出席者】

総合政策部長	川地 諭	財政課長	篠原 正裕
財政課主査兼財政係長	山本 玄	文化・スポーツ振興部長	姫井 昌
スポーツ振興課長	川崎 信宏	市民生活部長	佐久間 昌彦
市民生活部次長	井本 雅友	市民生活課長	石田 恵子
市民生活課課長補佐	山本 満康	市民生活課市民生活係長	三浦 裕
健康福祉部長	河合 久雄	高齢福祉課長	吉岡 忠司
高齢福祉課主幹	塚本 晃子	高齢福祉課技監	尾山 貴子
高齢福祉課主査	河上 雄治	高齢福祉課高齢福祉係長	古谷 正敏
国保年金課長	桶谷 一博	産業振興部長	芳司 修重
農林水産課長	高橋 敏明	農林水産課課長補佐	中村 景二
教育長	江澤 正思	教育部長	尾山 邦彦
社会教育課長	和西 禎行	社会教育課課長補佐	臼井 賢治

【事務局出席者】

局長	中村 聡	局次長	清水 保
----	------	-----	------

【審査事項】

1 議案第55号 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）  
について

---

午前10時 開会

---

伊藤實委員長 それでは、一般会計予算決算常任委員会を開催します。議案第55号平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）の審査を行います。それでは、執行部から総括説明をお願いします。

篠原財政課長 平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算(第1回)について、まず財政課から総括的な説明をします。今回の補正の主なものは、地域コミュニティ助成事業、出合公民館外壁改修事業、国民健康保険事業ほか特別会計への繰入金など、取り急ぎ措置すべき案件の補正です。補正予算の1ページ、今回の補正は歳入歳出それぞれ2,260万3,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ286億3,431万8,000円とするものです。2ページ、第1表歳入歳出予算補正の歳入として、18款繰入金、20款諸収入において、補正額を計上しています。3ページ、歳出として、2款総務費、3款民生費、6款農林水産業費、10款教育費において、補正額を計上しています。以上、総括的な内容について説明しました。続いて、4ページからの事項別明細書において、まず歳入の一般財源について財政課から説明し、その他の歳入については、歳出の説明に併せて担当課が説明をします。6、7ページ、18款1項1目1節の財政調整基金繰入金1,985万6,000円の増額については、今回の補正に係る財源調整により計上しています。これにより、財政調整基金の予算上の残高は36億1,058万4,000円となります。その他の歳入については、歳出の説明に併せて各担当課から説明します。

石田市民生活課長 予算書8、9ページ、2款1項16目ふるさと推進事業費です。補正前の額319万7,000円に250万円を増額し、補正後の額を569万7,000円にお願いするものです。補正内容は19節負担金、補助及び交付金として地域コミュニティ事業助成金250万円を計上しています。本事業は財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業として地域コミュニティの健全な発展を図るために実施するもので、平成28年4月に県を通じて交付決定がされましたので、本6月補正で予算計上するものです。具体的な内容は、吉部田太鼓保存会に対し、太鼓等の購入費250万円を助成するものです。これに対する歳入とし

ては6、7ページ、20款4項2目雑入2節総務費雑入のうち宝くじ助成金250万円です。なお、本事業の公募手続については昨年9月に市のホームページと広報紙に募集記事を掲載しています。

伊藤實委員長 引き続きスポーツ振興課から説明を求めます。

川崎スポーツ振興課長 8、9ページ、今回の補正は全国ゴルフ大会山陽大会補助金10万円の増額補正です。この大会は山陽商工会議所青年部が主催で7月29日、30日の2日間、県内外から約400人が集い、市内のゴルフ場で開催されます。また、大会期間中に山陽オートレース場の活用も計画されています。今年3月に公表した山陽小野田市スポーツによるまちづくり推進計画においてもスポーツによるまちづくりの推進として、魅力あるスポーツイベントの開催とスポーツツーリズム、いわゆるスポーツ観光を積極的に展開し、交流人口の増加を図り、市外への情報発信や地域活性化を推進すると明記しています。この大会は全国から多くの方が本市に訪れ、スポーツを通じて交流を図り、本市のスポーツ資源であるゴルフ場やオートレース場を市外へ情報発信し、また、本市を訪れたいと思うリピーターも期待できる魅力ある大会であると考えます。予算については、2款1項27目スポーツ振興費、19節負担金、補助及び交付金を10万円増額し、歳出後の額を3,591万2,000円とするものです。

伊藤實委員長 執行部の説明が終わりましたので、まず市民生活課に関する質疑を受けます。

河野朋子委員 広報等で公募されたとのことですが、応募は何団体だったんですか。

石田市民生活課長 2団体から申請がありました。

河野朋子委員 吉部田の太鼓を選んだ理由は何ですか。

石田市民生活課長 2件申請がありましたが、2件とも県を通じて自治総合センターに申請を上げています。

河野朋子委員 こちらだけが選ばれた理由は何ですか。

石田市民生活課長 決定は自治総合センターが行います。担当としては2件申請があり、この一般コミュニティ事業に該当すれば申請があったものについては、その内容を確認して全て申請を上げています。

河野朋子委員 市としては、こういった条件だからこちらに決まったという内訳については、一切承知していないということですか。

石田市民生活課長 そうです。

下瀬俊夫委員 2団体とも太鼓保存会ですか。

石田市民生活課長 1件は違う団体です。

下瀬俊夫委員 これは助成金となっていて、太鼓を購入すると言われましたが、助成金250万円を渡し切りですか。差額を返してということではないんですね。

石田市民生活課長 助成金以上使うということになりますので、返還金は生じません。

矢田松夫委員 吉部田の太鼓ですが、各種の行事に参加しているので、申請したということですが、各種の行事とはどういうものですか。

石田市民生活課長 平成27年度は、吉部田の太鼓団で参加された行事としては、8月に厚陽地区の夏祭り、厚陽小学校のジャンボリーと11月に厚陽地区文化祭、今年2月に放課後子ども教室において日本の文化を学ぶということで、和太鼓と雅楽の集いを行っています。

矢田松夫委員 和太鼓は野外で行う行事が多い。厚狭複合施設で吉部田和太鼓を使った演奏をされたんですが、室内だったので、響いて耳が痛かったと。こういうこともあるので、違う団体と吉部田の和太鼓との比較、広く市民が共鳴できるようならえ方もできるような選び方も必要ではないかと思いますので、次回にお願いしたい。屋外しかできないものと両方できるものときちんと分けて、みんなが公平にできる団体を是非お願いしたいと思います。

河野朋子委員 公募されたものは、そのまま申請して、結果も市がタッチする

ことができないというように受け止めたんですが、それでいいんですか。

石田市民生活課長 そのままということではなく、この度の吉部田太鼓団であれば現地を確認し、聞き取りも行って、太鼓の保管場所、神事にも使わないということを確認し、申請を上げています。

河野朋子委員 申請するに値する団体かどうかということをして市があらかじめチェックして、それをパスすれば出すということで、矢田委員が言われるようなことまで市が立ち入れるのかということを確認したいんですが、どうですか。

石田市民生活課長 一般コミュニティ助成事業の趣旨としては、宝くじの社会貢献広報事業というものが第一にあります。コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の設備など、地域のコミュニティ活動の充実強化を図ることを目的とした事業です。市が立ち入るということがどの程度かということだと思いますが、この趣旨に沿ったもの、それから申請に当たって、神事等には使わないなどの注意事項がありますので、その確認はしっかりした上で申請を上げています。

中村博行委員 広報で募集されたということですが、毎年一回このようにしているのですか。

石田市民生活課長 このコミュニティ助成事業については、毎年8月末に県を通じて申請の募集が行われます。それを受けて9月1日にホームページに掲載します。それから9月15日号の広報紙に載せて、10月末が締め切りになるので、それまで審査等を行って、県を通じて自治総合センターに申請を行っています。決定が下りるのが3月末で、4月に入って市に届きますので、6月補正で毎年させていただいています。

中村博行委員 金額は250万円と決まっているんですか。

石田市民生活課長 この一般コミュニティ助成事業は、助成額が100万円から250万円と決まっています。

下瀬俊夫委員 私の記憶では、毎年各地の太鼓保存会が受けていると思っているんですが、そういうところしかコミュニティ事業というものがないのかなということと、2年続けて申請ができるのかどうか。

石田市民生活課長 過去の助成状況を説明すると、平成23年度は3団体申請して、太鼓の団体が2団体でした。24年度は2団体申請があり、23年度の太鼓の団体が24年度に引き続き申請されているという例はあります。

伊藤實委員長 申請されて、その結果はどうか。

石田市民生活課長 太鼓の団体の一つは、3年連続申請をされて3年目に助成が付いたというケースがあります。太鼓以外としては、ふるさとづくり協議会で、祭り関係の備品を購入して、それを広く市民の方に使っただけです。ケースとしては、太鼓の団体よりもふるさとづくり協議会のほうが多いです。

伊藤實委員長 ふるさとづくりで備品を購入されたということですが、山陽総合事務所については倉庫がないんです。備品を入れる倉庫は助成の対象になるんですか。

石田市民生活課長 コミュニティ助成事業に関しては、建物は認められていなかったと思います。一般コミュニティ助成事業以外にもいろいろな事業がありますが、その中で倉庫の申請ができるかどうかは分かりません。

伊藤實委員長 要するに備品関係は助成金で買えるということで、一般財源を使わなくてもできるわけです。それを保管する倉庫ぐらいは市で対応するという考えはないのかということです。

石田市民生活課長 ふるさとづくり協議会の備品を納める倉庫ですが、ふるさとづくり協議会で設置して、その中に備品を納めている状況です。

矢田松夫委員 それは、市のふるさとづくり協議会のことであって、地域のふるさとづくり協議会の場合は保管する倉庫がないので、例えば新しい厚狭複合施設のステージの横に置いているんです。それでステージそのものが使えない。だからそういうところにも使えるんじゃないかという質問ですが、それはできないということですね。

伊藤實委員長 是非現地を見てください。そういうところも考えないといけないと思いますので、よろしくお願いします。

岡山明委員 宝くじの助成金のトータルは幾らになるんですか。それに対してこのコミュニティの助成金が何パーセントを占めるのか、確認したいんですが。

石田市民生活課長 これは自治総合センターを通じて、各県に下りてきます。山口県全体では一般コミュニティ事業22件、金額が5,170万円になります。当市は2件申請を上げて1件採択されて、これが250万円です。

伊藤實委員長 それでは、スポーツ振興課関係の質疑をお願いします。

矢田松夫委員 10万円ですが、寸志程度ですよ。商工会議所青年部が自腹を切って全国各地に回って、集客を自ら行っている。先ほど言われたように交流人口の増加とか市内外への発信、涙ぐましい努力をしている結果が10万円で何ができるのかと思うんですが、労に報いるためにも、最初で最後だと思います、全国的に来るのが。もう少し金額の増額をお願いしたいんですが。

川崎スポーツ振興課長 申請のときに事業予算書をいただいています。参加料、広告収入、補助金等で予算書が作られていますが、この10万円は商工労働課や市民生活課に各種諸行事助成金というのが初回10万円を補助しようということがあり、統一的に10万円に助成しようというものです。

矢田松夫委員 諸行事というのは地域の祭り18万円ですよ。観光協会が20万円、大体20万円が一つの祭りに出るんですよ。これは全国の方が市内にお金を落とすという非常にメリットのあるイベントなんですよ。それに比べれば少ないので、出るところがあれば出していただきたい。

姫井文化スポーツ振興部長 10万円の根拠については、他課のものを基準に出しています。初めての場合は10万円ということですので、2回目以降もされれば、少しされるように考えられているようですが、そのときには金額は考えたいと思います。

松尾数則委員 商工会議所は本当に本気になってやられている全国レベルの大



会なんですね。観光振興に非常に役立つので、おもてなしということも考えるといろいろなことができると思いますが、その辺を含めてどのように考えていますか。

川崎スポーツ振興課長 これは400人、県外から250人来られると聞いていますが、スポーツのイベントとしてはいいものだと思っています。今回、第1回目で、2回目、3回目がどこで開催されるかということはありませんが、すでに商工会議所青年部としては日程を全て決めておられるように聞いていますし、予算の中でも具体的に市から10万円ということで予定されています。この中で第1回目を運営していただいて、2回目、3回目になったときには、そのときに検討させていただきます。

松尾数則委員 いろいろ検討されているということですが、例えば宿泊施設を含めて、それ以外もあると思いますが、いろいろ検討されているのかを聞きました。

川崎スポーツ振興課長 主催は商工会議所青年部ですから、そちらで検討されています。市としては、このイベントに10万円助成しようということなのです。

河野朋子委員 補助金の金額が問題になっているんですが、これは交付基準に基づいた金額ということではないんですよね。

川崎スポーツ振興課長 今回、初回ということもあり、要綱等ではなくて、決裁に基づいて交付決定したいと思っています。

河野朋子委員 それでは、これは補助金要綱に基づいたものではなくて、今回初めてということで、この金額に決定したということなので、これからいろいろ変わる可能性があるということではないんですか。

川崎スポーツ振興課長 今回は、スポーツ関係として10万円助成するということの第1回目ですから、今後このようなイベントについて要望が多くなったときにはルールを決めてということになるかと思っています。

伊藤實委員長 青年部から市の助成金として10万円という提示があったわけでしょう。

川崎スポーツ振興課長 金額的には10万円ぐらいどうにかならないかという話がありました。

伊藤實委員長 商工会議所青年部のほうから10万円お願いしたいということで、10万円満額出そうという話ですよ。

下瀬俊夫委員 川崎課長の話がよく見えないんですが、2回目、3回目からは新たに交付要綱を作るということですか。

川崎スポーツ振興課長 今回については、全国の方が参加するイベントということもあり、県外から100人以上が来られたら、一人当たり千円ぐらいの助成になりますが、そのようなことで今回は大変有意義なイベントということで10万円。商工会議所青年部からの要望が10万円、それから市の商工労働課、市民生活課の諸行事負担金の1回目が10万円ということが合致して、10万円を助成しますが、今後このような大会の要望があったら、そのときに改めて、例えば県外から100人以上のイベントであるとか、要綱の策定を検討したいと思っています。

下瀬俊夫委員 この次にできるんだったら、なぜ今回できないんですか。要綱の変更が執行部の考えによって、変更できるということであれば、今回も対応できたわけでしょう。今回はできないけど、この次はできますという言い方がおかしい。

川崎スポーツ振興課長 今回初めてのケースであって、要望件数が非常に少ないのかなと思っていますので、今後要望が多くなれば一定のルール、要綱を定めて、それによって対応させてもらったらと思っています。

松尾数則委員 確認を取りたいんですが、「山陽小野田市は10万円を出して、後は全て商工会議所にお任せします。山陽小野田市としてはもう何もしません」ということではないですよ。

川崎スポーツ振興課長 このイベントについて、市としては後援という立場で、主催が青年部ということで内容は青年部にお任せして、市としては10万円を助成のみと考えています。

河野朋子委員 これまでこういったような助成金の要望、先ほど要望が少ないから今後多くなれば要綱を作ると言われましたが、こういったものはほ

とんどなかったということですか。

川崎スポーツ振興課長 競技団体が市内で大会をする、体育協会やスポーツ少年団とかの大会については把握していますが、今回のような規模の大会はありません。

伊藤實委員長 今まで日本一のゴルフコンペも申請していると思いますが。

川崎スポーツ振興課長 日本一のゴルフコンペは日本一の大会だと思っています。

姫井文化スポーツ振興部長 我々の考えは、今回初めてですので、他の補助金に準じて出して、これが2回目、3回目と定着すれば、そのときに補助要綱を作成して、その中でもっと考えていきたい。今回初めてですので、その内容を確認させていただきたいと思っています。

伊藤實委員長 いろいろあると思いますが、オートレース場も活用するので、レース場のPRにもなるということで、いろいろ波及効果があると思います。先ほど矢田委員からあったように、青年部の会長、副会長は東北に行ったり、大阪に行ったり、全国を走り回っています。その経費も大変でしょうけど、若い人がゴルフを通じてまちづくりを全国に発信しようということなので、行政もしっかりとバックアップをしてほしいと思います。それとせっかくなので、前夜祭とかあるので、理科大のPR、ちょうど年齢的には子供が大学生とかなので、せっかくですから、公立化する大学のコーナーを利用させてもらおうとかできると思うので、市の情報発信源にしてほしいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、これまでの質疑を終わります。次に国保年金課と高齢福祉課の説明を求めます。

桶谷国保年金課長 8、9ページ、3款1項1目28節繰出金のうち、国民健康保険特別会計繰出金367万5,000円です。補正の内容は、持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律により、平成30年度から県が市町とともに国民健康保険を運営することになります。これに先立ち、今年度各市町は保有する基礎データを県に提出し、県はそれらを基に市町ごとの国保事業費納付金額や標準保険料率の算定を行うことになります。こうしたことから、この度国民健康保険特別会計補正予算において歳出で本市が保有する基礎データを

県に提出できるよう電算システムの改修費用667万5,000円を計上し、歳入でこれら電算システム改修に係る国庫補助金300万円を計上しています。一般会計においては、これら差額367万5,000円を事務費等繰出金として国民健康保険特別会計に繰り出すものです。

吉岡高齢福祉課長 3款1項1目社会福祉総務費、28節繰出金の介護保険特別会計繰出金について181万円減額するものです。これは平成27年度介護保険特別会計における支払基金交付金精算に伴う介護給付費交付金の追加交付と地域支援事業費の償還金です。内訳は介護給付費交付金分が353万3,000円の減額、地域支援事業費が172万3,000円の増額となっています。

伊藤實委員長 それでは、質疑を行います。ないようですので、次の審査を行います。

高橋産業振興部次長兼農林水産課長 6款1項2目農業総務費、19節負担金、補助及び交付金、有線放送清算業務負担金として、63万8,000円を増額しています。有線放送電話は山陽小野田市山陽有線放送電話共同設置協会が行っていましたが、平成23年3月末をもって事業を廃止したことから、清算人会を立ち上げ、同年4月以降はその清算業務を行っています。清算に係る機器や設備、事務所経費を含めた経費については協会設置者である山陽小野田市と山口宇部農業協同組合とがそれぞれ相互に負担することとしており、この度の負担金は、残り3本となった電柱及び架空線の撤去処分に充てる経費として山陽小野田市分を協会清算人会に支出するものです。山口宇部農業協同組合の負担分については平成27年度に納入済みとなっています。清算業務の期間は、平成23年4月時点で平成28年3月末での5か年とし、撤去作業についてもこの期間内で終了することとしていましたが、昨年、山野井地区において残り3本となった電柱の架空線が山陽本線を横断していたため、JRとの協議が必要となり、結果撤去作業が4月以降となりました。このため市では撤去できなかった電柱及び架空線に係る負担金額を減額して支出することとしましたが、時期的に減額分を当初予算に計上することができなかったため、この度の補正となりました。なお、清算業務を山口宇部農業協同組合とも協議の上、9月末までに全て完了することとしています。次に歳入で、6,7ページ、20款4項2目雑入、6節農林水産業費雑入金において、有線放送清算業務負担金として24万7,000円を増額しています。これは市が雇用している臨時職員の有線放送清算業務に係

る人件費を山口宇部農業協同組合の負担分として有線放送協会清算人会から受け入れるものです。

伊藤實委員長　それでは質疑を行います。

下瀬俊夫委員　清算に関わる事業費、最終的にどのくらいになるか分かりますか。

高橋産業振興部次長兼農林水産課長　27年度末で撤去費は6,520万円、人件費等を含めた清算金額は8,285万円となっています。清算業務が半年間延びた関係で、事務所経費、人件費等の増はあります。まだ清算が終わっていませんので、分かる範囲でお答えしました。

下瀬俊夫委員　撤去作業の最中に事故があり怪我をされましたが、それはその後どうなりましたか。

中村農林水産課課長補佐　順調に回復されていると聞いています。退院はされています。

下瀬俊夫委員　有線放送協会が始まって以降の歴史的な資料、音声、アナログのテープで記録されていたものが大量に残っていたんですが、これをある方がボランティアでデジタル化の作業をしたいという話があって、個人的な作業としてされてこられたわけですが、途中から有線放送協会なのか行政なのかは不明ですが、教育委員会、厚狭図書館との関係で公式に保存の問題について協議をされていると思っていますが、具体的にどのような申し出があったのか分かりますか。

高橋産業振興部次長兼農林水産課長　有線放送の資料については、本来、清算人会の中でしっかりと協議すべき事項であったと思いますが、それが抜けていたように思います。教育委員会のほうでは資料そのものが歴史的な価値、当時の山陽町の時代の風景が浮かんでくるといった知的な財産としての認識を持っています。この資料の保存については教育委員会ともう少し協議の時間を持ちたいと思っています。

下瀬俊夫委員　厚狭図書館から複合施設に移って、このときにその資料を持って帰ってくださいということで、今有線放送協会に保存されているやに聞いています。アナログ資料も含めてこういった貴重な資料は今後どの

ようにするのか、歴史的だと言いましたが、自分や家族の声などがかなり取材によって幅広く収集されているんですね。これは非常に貴重な資料だと思っているんですが、これは何とか守りたいと思っているんですが、その辺りの検討はされているんでしょうか。

芳司産業振興部長 その件については、先日も議場で申し上げましたが、農林サイドとしては事業は終了していますので、清算に向けて粛々と進めているところです。歴史的な価値があるということは教育委員会もその認識を示していますので、資料の保存、保護、あるいは活用といったことも考えられますが、そういったことは教育委員会サイドで進めていかれると考えていますし、そういった協議もしているところです。

伊藤實委員長 今の件については、別のところでしていただいて、補正予算に関連する質疑をお願いします。

下瀬俊夫委員 有線放送協会がある施設ですが、その所有権は今後どうなるのか。一部別の団体が使用しているやに聞いていますが、これも含めてこの施設についてどうされるのか。

高橋産業振興部次長兼農林水産課長 施設は市の所有で、敷地は山口宇部農業協同組合の所有であり、所有者の意向としては更地返還ということ我希望されています。市としても清算業務が終われば、その施設自体、老朽化していますので、意向に沿った形で対応していきたい。時期についてはこの場での明言は控えさせていただきますが、方向性としてはそういうことです。他の団体の方にもその旨はお伝えしています。

松尾数則委員 清算人会が全ての役目を終わるということで、雇用されている方の行く末はどのようなになるんですか。

高橋産業振興部次長兼農林水産課長 現在市で雇用して、清算業務と市の業務とを日を分けて仕事をしていただいています。雇用者については市が臨時雇用していますので、適切な対応をしていきたいと考えています。

伊藤實委員長 それでは、次の審査を行います。社会教育課から説明をお願いします。

和西社会教育課長 10款教育費、5項社会教育費、2目公民館費の増額補正、

1,750万円については、出合公民館の外壁等の補修経費です。年明け1月4日、約4㎡のモルタル外壁が落下しているのを公民館長が発見、調査したところ、他にもモルタル外壁が浮き、落下する可能性が高い危険箇所が多数あることが判明しました。危険箇所の特定と危険箇所のモルタルの除去については、緊急性があることから予備費を充用し、2月末に工事を完了したところです。資料で説明しますと、公民館の北側、7番から11番が1月に落下した箇所です。それ以外は調査で危険箇所として判明したところです。壁面を補修する箇所及び数量が確定した時期が2月末となり、モルタルの埋め戻し等外壁の補修に係る経費の算定が当初予算に間に合わなかったことから、6月定例会において、補正要求をすることとなったものです。また、腐食が進み、使用を制限していました屋外にあるらせん階段も併せて修繕を行うものです。

伊藤實委員長　それでは質疑を受けます。

矢田松夫委員　モルタル外壁の撤去、修繕は異論ない、早くしてほしいんですが、らせん階段の補修ですが、補修するということは再び使うということですね。

和西社会教育課長　使うことを考えています。

矢田松夫委員　写真でいうと、1枚目の③、⑥、⑦ですが、使うんですか、何のために。

和西社会教育課長　消防法でいう非常階段として使う考えです。

矢田松夫委員　現地を確認しましたが、非常階段としての用をなしていないということと、消防法からいうと問題はないと、らせん階段をのけると逃げ口が1階の階段しかないが、しかしながら問題ないと聞きました。その話は別にしても、らせん階段については撤去してほしいということですが、消防法で使うということではなくて、危ないから撤去する。らせん階段があることによって、再びモルタル外壁が落ちる危険性があるという状況もあるんですが、どうですか。

和西社会教育課長　消防署の見解では、ここがなくてもということは確かにあるんですが、ただ、なくてもという表現とともにあったほうが良いという見解をいただいています。新たに落下するということの理解ができな

いんですが。

矢田松夫委員 とにかく、らせん階段は危険で使い道がないので、撤去してほしいと、ただそれだけなんです。らせん階段を修繕して、避難用に使うと言われましたが、全く意味がないんです。

和西社会教育課長 どこがどう危険なのかが分からないんですが、被せているおおいについては全部取り外しますし、天井にふたをしているんですが、そこも腐食していますので、撤去します。階段もかなりさびていますので、きれいにしてさび止めをしていこうと思いますので、階段として使用できるようにする予算を計上していますので、一緒にやっていきたいと考えています。

矢田松夫委員 教育長、現場を見られましたか。修繕して使えるものなのかどうなのか。避難のために使うということですが、本来はらせん階段で外から中に入るという用途もあったんですが、全く意味をなしていないんですよね。消防法でいうと、1階の入り口、階段のところで玄関と裏側に出られるということで、無用の長物と思うんです。それがあって、7番、11番に行けない。3番、6番のところをのけることによって、7番、11番に行けるんです、道が広がって。

江澤教育長 消防の話では、あったほうがいいという判断があるということの一つ、今の階段は確かに使えるのかなということですが、それは建築とか専門家が見て、きちんと安全なように施工する計画ですので、専門家の見解を尊重したいと思います。

下瀬俊夫委員 らせん階段の補修費用はどのくらいですか。

和西社会教育課長 約120万円です。

下瀬俊夫委員 赤崎公民館のエレベーターの問題。当初予算で説明があったかどうかは分からないんですが、工事の発注をみて驚いているんです。出合公民館はエレベーターの設置の要望が強かったところですよ。赤崎でいえば、600万円程度の予算でやっているんですが、今回の補修の問題と同時にそういうことも考えられなかったのか。当然、赤崎だけを考えておられる訳ではないと思いますので、今後、市内の公民館にエレベーター設置の問題が出てくるのであれば、今回の補修と同時にという



考えはなかったんですか。

和西社会教育課長 公民館のエレベーターの設置については、新耐震基準を満たしているかどうか条件としてあり、出合公民館は昭和55年の建設ですので、旧耐震の建物になります。新耐震を満たしている建物として公民館の中で赤崎公民館のエレベーターを予算化したということです。

矢田松夫委員 先ほどの続きですが、利用者から聞いたんですよ。あったほうがいいがなくてもいい、ないよりあったほうがいいという単純な執行部の考えなんですけど、地元の人があってもなくても関係ないよと言うんですよ。ただ、今のものはのけてくれと、危ないから。ただそれだけなんです。らせん階段そのものを使うということですよ。全然意味がないんですよ。利用者に聞いてみてください。ないことによって、プラス面はある、奥にも入れる。今、前を通過して保育園の先生が12、16番の辺に止めているんです。出合公民館、ぐるっと車で回れるんです、3、6がないことによって。あるいはごみの回収車も12、16のところにも置けるし、いろいろな使い道がある。だから、あることによって、プラスということはほとんどないんですよ。ただ、危ないときに逃げるだけということなんです。それもあったほうがいいがなくてもいい。もう一回利用者に聞いてください。

和西社会教育課長 この件については、平成22年の頃から議員であった地元の方から、再三、一般質問等で要求を伺ってしまして、教育委員会としては地元の声としていただいていたので、予算要求を続けてきたところなんです。地元の声はいろいろあると思いますが、私どもとしては5、6年の懸案事項でありましたので、要求させていただいているところです。それから、奥に車が止められるようになると言われましたが、奥に車を止めるようになると見通しが悪くなって危険な状況になります。出合公民館は駐車場がしっかりありますので、ここを駐車場で考えるのは教育委員会としては考えていません。

矢田松夫委員 最初言われたことは、あれはエレベーターを付けてくれということじゃなかったですか。階段が危ないから撤去して、そこにエレベーターを設置してくれと。12、16が何で見通しが悪いのか、見通しが悪いものを何で今まで駐車場としていたのかが分からない。線が引いてあるのは山で、向こうから車が来ないし、見通しがいいとか悪いとは論外なんです。先日、出合地区の運動会に行きましたが、私の情報が一番

新しいんです。皆さん方は危ないからのけてほしいと、ただそれだけです。改修してくれということはない。

伊藤實委員長 住民の声はいろいろありますが、ほかに。

矢田松夫委員 もうそのことは言いません。地図でいうと、今回はモルタルを撤去するということですが、20番のといが腐食していますが、今回それも補修するんですか。

臼井社会教育課課長補佐 といの改修は1か所のみを考えています。当初落下した北側のといを直す予定にしています。7番から11番です。

矢田松夫委員 20番の所は、こけがはえて水が漏れているんですよ。もう少し見てくださいよ。近くに出合保育園がありますが、工事期間中の騒音や粉じん、交通安全についてどうされるのか。

和西社会教育課長 工事にするに当たっては、細心の注意をするところだと思いますので、工事業者が決まりましたら、しっかり協議していきたいと思っています。

伊藤實委員長 資料を提出されて分かりやすかったんですが、説明をもう少し考えないと。要するに、外壁が落下したと、それのみをするところを足場とかを組むわけだから、そういう部分についても補修するということですよ。実際、厚狭小学校のときも委員会で指摘したように、渡り廊下だけはそのままなんですよ。足場を組んでいるのに、一緒になぜそこをしないのかということも指摘したこともあるんだけど、今回補修をして、どこか塗装が残るというようなことはないよね。そういう部分も含めて全体をするということですよ。

和西社会教育課長 委員長が言われるように、その辺りもきれいにしていくことにしています。

伊藤實委員長 見た目でもだらになるということはないよね。

臼井社会教育課課長補佐 リフリート補修をする所が120平方メートル少し、水洗い工法、サンダー工法は全ての外壁ということで1,000平方メートル弱を見積もっています。

伊藤實委員長 景観等もあるので、その辺は十分注意してほしいと思います。

中村博行委員 エレベーターの件が出ましたので、エレベーターを設置するためには耐震強度が要件になるということでしたが、公民館だけでいうと、それができている所は何か所あるんですか。

和西社会教育課長 旧耐震基準のままの所が厚陽公民館と埴生公民館と出合公民館です。ただ、小野田側には市民館がありますので、公民館かどうかは別として市民館があります。

下瀬俊夫委員 耐震化が済んでいる公民館は、今後順次エレベーターを付けていくということになるんですか。

和西社会教育課長 市全体の公共施設の中でどこにエレベーターを付けるのか、バリアフリーの問題を市全体の中で考えていかなければいけないと思いますが、赤崎の次の計画はありません。

伊藤實委員長 この件については、所管でしっかりやってください。どこの公民館も利用しやすいようにすべきだと思いますので、所管の総務でしっかりやっていただきたいと思います。

和西社会教育課長 補足ですが、高千帆公民館も旧耐震で、勤労青少年ホームと兼ねていますが、そこも旧耐震の建物です。残りは、耐震かどうかは別として、1階、平屋になっています。

笹木慶之委員 財政課に聞きますが、9ページ、これは国保の関係ですが、国保特別会計の審査が終わっているので、あえてここで言わなかったんですが、国民健康保険特別会計繰出金が367万5,000円ですよね。総事業費が667万5,000円で、国が300万円、そうすると残額は一般会計がみるということになっていますが、このような事業について特別会計における負担はないのか、その基準について聞きます。

篠原財政課長 この度の国民健康保険特別会計繰出金については、先ほど説明があったように広域化に向けた準備となっています。今時点での国民健康保険会計では広域化の財源を持っていませんので、一般会計からの負担になります。

川地総合政策部長 補足ですが、システム改修は事務費に関する経費です。特別会計での財源としては保険料がありますが、保険料は保険給付に対するものですので、こういった事務に関しては国、県の補助金以外は一般会計が持つというルールがありますので、それに従っています。

伊藤實委員長 それでは、質疑を終了し、討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）採決を行います。議案第55号平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）について賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

伊藤實委員長 全員賛成ですので、議案第55号は原案どおり可決すべきものと決しました。以上で委員会を終了します。

---

午前11時20分散会

---

平成28年6月14日

一般会計予算決算常任委員会委員長 伊 藤 實